

「平成 29 年度 第 71 回東白川中学校卒業証書授与式」村長祝辞

長く厳しかった冬が終わり、故郷の山や川を吹き渡る風に春の息吹を感じる今日
よき日、伝統ある東白川中学校を卒業する 24 名の皆さん、ご卒業誠におめでとう
ございます。

また、今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てられました保護者の皆様にも心
からお慶びを申し上げます。

そして古田校長先生をはじめ教職員の皆様方には、これまで暖かく、時には厳しく
子供たちを導いていただいたご労苦に対し深く感謝を申し上げます。

さて、あらためて卒業生の皆さんに、村民の皆様を代表して、お祝いと励ましの言
葉を贈りたいと思います。

皆さんはこの東白川中学校でたくさんの事を学び、身体を鍛え、友情を育んできま
した。先の「ふるさと学習発表会」で見せてくれた「さすが 3 年生」という姿に大き
な感動を覚えました。こうして立派に成長し、今、卒業式を迎えたみなさんに 2 つの
お願いをします。

1 つ目のお願いは、「こうして成長できたのも、ここまで皆さんを励まし沢山の愛情
をもって、育て見守って下さったご家族、恩師の先生や、地域の皆さんの温かい心が
あったのことであり、皆さんに対する感謝の気持ちを忘れずにいて欲しい。」という
ことです。

2 つ目のお願いは、「御両親から授かった皆さんの身体を大切にして欲しい。」とい
うことです。この村で御家族や先生方、地域の方々に見守られてすくすくと育った皆
さんは、これからの人生において想像ができないような危険や誘惑、ストレスなどを
体験すると思います。どうかそうした危険などに負けないように自分の身体を守り、
健康について自分で責任を持って生活するよう務めていただきたいのです。健康な身
体を作り維持してこそ、皆さんの夢や希望をかなえることができるのです。

次に皆さんは、東白川村のことを真剣に考え故郷を誇りに思い、いろいろな夢を持
って羽ばたこうとしていることが、ふるさと学習発表会や CATV の番組などでしっか
りと伝わってきました。本当に嬉しく、そして心強く感じました。

どうか、これからこの村を離れることになっても、東白川村を忘れずにいて下さい。
勉学やスポーツ、友達との交流などを通じて体力、知力や学力を身につけるとともに
いろいろな体験により、逞しく成長し、東白川村の応援団になって下さい。ふるさと
学習発表会のときに私がお話ししたように、何処にいても何をしていても、御家族の事、
そしてふるさとのために何ができるかということをお忘れずにいて欲しいと思いま
す。そして機会に恵まれたならばこの村に帰ってきて、この村で自らの人生の花を満
開に咲かせていただけたら、この上ない喜びとするところであります。

東白川村が何時までもあなた方の故郷であることは生涯変わりありません。

私たち東白川村民は皆さんが育ったこの故郷をしっかりと守り次代に引き継いで
まいることを約束します。

結びに、卒業生の皆さんとご家族の皆様の末永い幸せをお祈り申し上げまして祝辞
とします。

平成 30 年 3 月 6 日

東白川村長 今 井 俊 郎